

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月12日

計画の名称	新幹線開通による武雄のにぎわいを創出するまちづくり													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和05年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	武雄市													
計画の目標	武雄温泉駅周辺と周辺拠点エリアの連携を強化し、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。 ・駅前広場の機能再編を行い、来訪者・駅利用者の交流を通じて駅周辺の賑わいと魅力の創出を図る。 ・新駅における交通結節機能の充実及び周辺拠点エリアの各施設の連携を強化し、誰もが訪れ利用しやすく、回遊を創出する環境整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,083	A	1,083	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1)	(R4末)	(R5末)
1	武雄温泉駅周辺と各拠点施設の連携強化による賑わい創出効果を図る指標として、武雄温泉駅の1日当たり乗車人員 1,700人（R1）から1,850人（R5）に増加 武雄温泉駅の乗車人員を把握する。（JR九州統計データ）			
		1700人/日	人/日	1850人/日
2	武雄温泉駅周辺と各拠点施設の連携強化による賑わい創出効果を図る指標として、観光交流センターの年間当たり利用者数 20,856人（R1）から23,000人（R5）に増加 観光交流センターの利用者数を把握する。（観光交流センター日報）			
		20856人/年	人/年	23000人/年
3	武雄温泉駅周辺の交流・賑わいづくりに寄与する駅前広場・高架下の新設効果を図る指標として、武雄温泉駅周辺地区での年間イベント開催数 54回（R1）から61回（R5）に増加 武雄温泉駅周辺地区でのイベント数を調査する。（届け出件数）			
		54件/年	件/年	61件/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	武雄市	直接	武雄市	—	—	武雄市武雄温泉駅周辺地区都市再生整備計画事業	170ha	武雄市	■	■	■			580		—	
											小計						580			
道路事業	A01-002	街路	一般	武雄市	直接	武雄市	S街路	改築	（都）天神崎白岩線	現道拡幅 L=0.1km	武雄市	■					503		—	
											小計						503			
											合計						1,083			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
武雄市都市再生整備計画事業評価委員会	令和7年1月
	公表の方法
	武雄市のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	■武雄温泉駅の乗車人員 西九州新幹線の開業にあわせて、駅周辺施設を整備したことで利便性が向上し乗車人員が増加した。 ■観光交流センターの利用者数 西九州新幹線の開業にあわせて、駅前広場等を整備したことで新たな観光拠点ができ、人が集いやすい場となったことで利用者が増加した。 ■武雄温泉駅周辺地区でのイベント数 駅前広場周辺が整備されてイベント開催場所が増えたことや回遊性が向上したことで、イベント回数が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	■駅前広場を整備したことで、物品販売や広報活動などで利用する個人や団体が増加し、駅周辺地区が人が集まる交流拠点としての機能が高まった。

○特記事項（今後の方針等）

■整備された駅前広場や駅周辺エリアの機能を維持・向上させていき、イベント回数や回遊人口を増加させ賑わいを創出する。 ■観光交流センターでの観光、物産等のより効果的なPR方法の検討。 ■定期的な観光イベントや物産販売などの開催に意欲的な民間団体や住民を募る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①（武雄温泉駅の乗車人員（人/日））		
	最 終 目標値	1850人/日	西九州新幹線の開業にあわせて駅周辺施設を整備したことで、利便性が向上し乗車人員の増加したため。
	最 終 実績値	1953人/日	
2	指標②（観光交流センターの利用者数（人/年））		
	最 終 目標値	23000人/年	西九州新幹線の開業にあわせて、駅前広場等を整備したことで新たな観光拠点ができ、人が集いやすい場となったことにより利用者の増加したため。
	最 終 実績値	30943人/年	
3	指標③（武雄温泉駅周辺地区でのイベント数（回/年））		
	最 終 目標値	61件/年	駅前広場周辺が整備されてイベント開催場所が増えたことや回遊性の向上によりイベント回数が増加したため。
	最 終 実績値	64件/年	